



初編下

春水作  
國芳画

特別  
~13  
4271  
2



かみ子八犬傳

特別  
~13  
4271  
1





かみきり八犬傳

特別  
~13  
4271  
1

かな讀

犬傳

初篇  
上冊

文溪堂

喜水作  
國芳畫



曾聞里見八犬傳の曲叟已たり是強かりし事生涯の筆形より蓋  
 今昔此小説家野の稗史とははゞもみみ此右ふもをりし  
 尊み友人何某あるもの竊み僕を哄誘へ八犬傳を草雙紙  
 直一と見て其のやうとある。茶利ゆりみ舌輕を其の口車にのり  
 来て承諾らまれとありしに筆。本傳二百六巻編。今合巻に  
 綴らんぬ。右処を縮免。左処を省れ其大槩筆は多編。半ハ画  
 破りて是を爾其只面影強寫す。骨強失ふ事あり。彼我  
 比巧拙其の差別あり。看官を以てく勘察し。但本傳の報條  
 好。と見あり。ぬ。於腹を立。這も一時の戯れをりし。

弘化五年戊申春正月吉旦

為永春水識

八犬傳の編



小に  
 萩  
 處女  
 一作  
 一り  
 作



里見  
 治部大輔  
 義實  
 金碗八郎  
 孝吉

ハナ作不為



山下 衛門 左  
定 包  
尉 門 左



神 餘  
長 狭 助  
光 弘  
壁 妻  
玉 梓



うたつての安房をば  
 てぞむのむたけ  
 三浦がさた  
 船のりこえ  
 漕のり浪や  
 三人めて敵の  
 囲まぬ破望た  
 蔵人貞行と  
 主従つら  
 木曾助氏元堀内  
 まのり老黨杉倉  
 父々最期の言話と  
 悟然死るんと覚  
 義実ものゆ  
 陣殺り  
 父本子基ハ



義實安房に渡  
 ると白龍天小  
 昇るに本傳小  
 りれども此書に  
 畧但その圖に  
 はみ愛はむとせ

發端  
 里見又太郎  
 義実が安房に  
 起るはとめと  
 言ひ父本子基  
 とのりとも結  
 城のあらふ鹿  
 あり持氏の  
 安王のりつた  
 て京鎌倉の大  
 軍とつたうの  
 籠城三年に  
 ねまは一度も  
 不覚とさうざら  
 了ふ太刀折れ  
 のりひつた落  
 城のとらよのり





此の巻は...  
 山崎の...  
 田舎の...  
 (Numerous vertical columns of text in kuzushiji script, including character names and dialogue.)

大傳 刀編



此の巻は...  
 山崎の...  
 田舎の...  
 (Numerous vertical columns of text in kuzushiji script, including character names and dialogue.)

大傳 刀編





大塚のついで

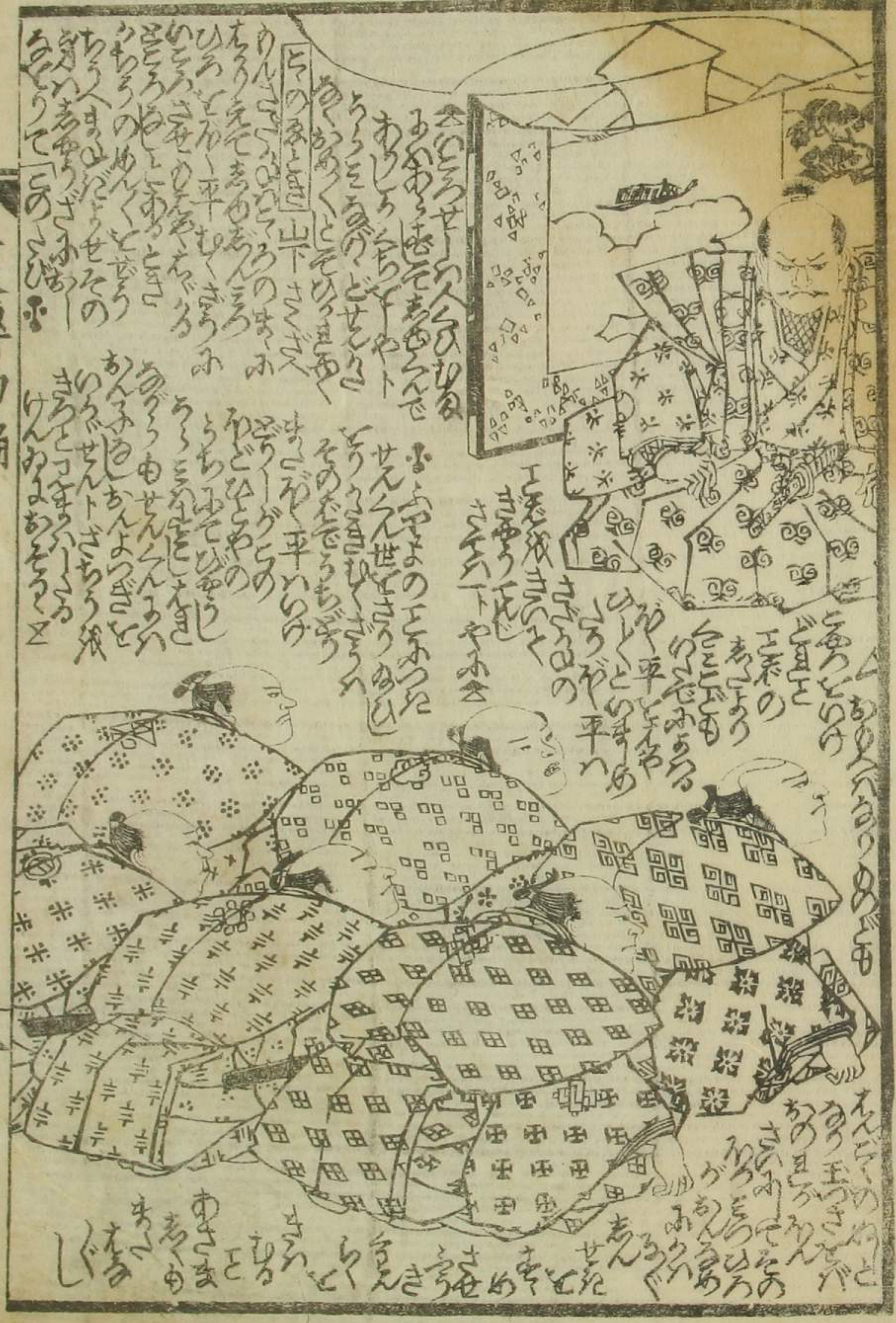
八ノ下

ついでに...  
あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...

ついでに...  
あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...

あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...

あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...  
あつて...  
さう...  
ひつ...







南總里見八犬傳全百六冊

曲亭馬琴作  
柳川重信畫

松浦 佐用姫 石魂錄 全十二冊  
馬琴作 豐廣画

俊寛島物語 全十冊  
馬琴作 豐廣画

飛彈匠物語 全六冊  
六樹園作 北齊画

田家茶話 全五冊  
藏永堂作 北馬画

新田功臣錄 全十冊  
小枝繁作 北齊画

忠孝潮來節 全五冊  
馬馬作 北齊画

梅の雪 一包代 七十二孔

花燭 一包代 六十四孔

玉艶紙 一包代 四十八孔

朝鮮 牛肉丸 一包代 百孔  
下谷三味せん堀東都 文溪堂  
大傳馬町三丁目  
丁子屋平兵衛版

八犬傳初編

國芳画 春水作

この巻は八犬傳の初編である。主人公の八犬の一人、黒犬の物語が中心である。この巻には、黒犬が如何に其の才力と勇気を用いて、其の仲間と共に、悪敵と戦つたか、其の物語が詳しく描かれてゐる。此の巻の終りに、黒犬が如何に其の仲間と共に、其の悪敵を打ち倒したか、其の物語が詳しく描かれてゐる。此の巻の終りに、黒犬が如何に其の仲間と共に、其の悪敵を打ち倒したか、其の物語が詳しく描かれてゐる。





初編下

春水作  
國芳画

特別  
~13  
4271  
2

かな

喜水作  
岡芳齋



犬傳

初篇

下冊

文溪堂



三

犬見のふんよ  
 犬見のふんよのふんよ  
 犬見のふんよのふんよ









八十九傳

十二



大軍の... 平ら... 堀内... 里見の...

平と... 平の... 堀内...

里見の... 堀内... 平の...



あ... せい... あ... せい...

あ... せい... あ... せい... 東條...

三の巻ありつけし... 二入りのち... 三の巻ありつけし... 二入りのち... 三の巻ありつけし... 二入りのち...

八犬傳



八犬傳

あつらひつと... 四の巻あり... 五の巻あり... 六の巻あり... 七の巻あり... 八の巻あり...









いもの麻呂  
の五郎  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北



信時首  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北

輝  
武  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北



の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北  
の東  
の西  
の南  
の北

|  |   |                                  |                            |                       |                         |                         |   |
|--|---|----------------------------------|----------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|---|
| 朝鮮<br>名方<br>牛肉丸<br>百代<br>下谷三味せんわり<br>對馬酒<br>漆崎氏製 | 梅の雪<br>一包代<br>七十二孔<br>花橘<br>びいどろ<br>六十四孔<br>玉艶紙<br>名化紙<br>代四十八孔 | 死灵物語<br>安積沼<br>全五冊<br>京傳作<br>重政画 | 滑和合人<br>四編五編<br>春水作<br>英泉画 | 地口のんごう<br>中形袋入<br>三編揃 | 玉石童子訓<br>六編馬琴作<br>七編豊國画 | 滑夢輔譚<br>全本一筆蒼<br>十五冊英泉画 | 假名續八犬傳<br>初編二帙全八冊<br>爲永春水作<br>二編三編近刻<br>一勇齋月國芳畫 |
|--|---|----------------------------------|----------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|---|

爲永春水作

一勇齋國芳画

朝鮮牛肉丸 一包 百文  
二朱 ますりやうやう  
弘所 下谷三味せんわり 對馬酒 漆崎氏

この家のこひのつきのまねある一作物グののぐうと



假名讀  
ハカシ  
犬傳

初傳上下

之存由多馬琴  
為永作  
國芳畫



文漢堂  
印